

月刊メルマガは毎月一日配信です。
登録は無料です。いつでも登録解除できます。

内容は時事ニュース、歴史、お知らせ、など
毎月様々なトピックをあつかっております。

ご登録いただいたメールアドレスは、
メルマガ配信以外に使用しておりませんのでご安心ください。

また、キャリアメール（携帯電話アドレス）でご登録した場合、
必ずインターネットからのメールを受信できるように
設定していただきますようお願い致します。

AI

月刊メルマガSAMPLE



ファーウェイという踏み絵

こんにちは、AIです。

今年も前半が終わろうとしています。（早い!）
アメリカは5月、6月が卒業シーズンです。
そして学生はこれから長い夏休みが始まります。

以前にも書きましたがアメリカ人の子供たちも夏休み中、読書という課題があります。

それにしても2か月以上休みが続くと親たちは大変ですね。^^:

さて、米中貿易戦争真ただ中、トランプ大統領が国賓として先月末に来日しました。これからの日米の貿易協議の同意を行うためであると思います。(これから何で決済をしていくかなどだと思います)

戦争とはなにもジェノサイドだけが戦争ではありません。ハッキリ言って金融制裁をしてしまえば相手は手も足も出せません。

ファーウェイ問題はイラン制裁までつながることとまた創業者は人民解放軍出身と言われています。世界の通信システムの覇権をめぐり、今まさに現代版踏み絵状態です。習近平も国家を維持しながら中国共産党をどうにかするという大変な役を与えられています。

世界はアメリカを筆頭に長い間、大陸的な領土の摂取と直接支配、排他的なジェノサイドを実行してきました。それはアメリカが隠れ共産主義に長年侵されてきたからです。

しかしアメリカが真の姿を取り戻しつつあります。それは海洋国家としてのアメリカです。

海洋民は間接的支配、つまり貿易・経済を古代から得意とします。今始まっている経済制裁はまさに海洋国家的な攻めであり、現在、世界のシナリオを描いている参謀側は海洋民で傭兵国家アメリカがそれを実行しているのでしょう。

またイギリスがEU離脱を望んでいるのも彼らも海洋国家だからです。(引き換えに北アイルランドを失うかもしれませんが)

イギリスが強制的にEU離脱すれば真っ先にアメリカと貿易協定を結ぶことでしょう。日本も海洋国家ですから海洋国家大三国で結べば地球一周になりますね。

するとなぜ第二次世界大戦では
日本は大陸的なドイツと同盟を結んだのか？

それはもう過去に大陸的思想（一神教も含む）が半島や大陸から
日本に潜入していたからですが
そういったこともこれから紹介していきたいと思います。

結局、世界で起きているいろいろな問題の一番の解決法は
俗史に流されず、しっかりした歴史を知ることであると思っています。
日本の学校でもこれから歴史科目を世界史と日本史に分けずに
すべて「世界史」として扱ってくれるそうです。

そして文字という物質的文明に頼らず、
音響、形象という波動幾何学文明でのみ伝わる
歴史の深淵の真相を口伝で伝えていくのが帝王学であり
それを解いていくのが洞察であります。

聖徳太子の正体

先月のメルマガでは新元号の令和の「和」は
聖徳太子の「和を以て貴しと為す」の意味であると説明しました。
昔の一万円札の顔であった聖徳太子ですが1984年から福沢諭吉に変更されました。
そしてこの新元号令和の「和」で聖徳太子が再び現れます。

聖徳太子とはいったい誰であったのか？
反日工作のために「聖徳太子は実在の人物ではない」とまで
最近は言われてしまっている始末。
さらには教科書から外すという話まで出ているとは驚きです。

なぜに、こう言われてしまっているのかと言ったら
彼の出生には血統ロンダリングの仕掛けがあるからです。

この仕掛けの謎は3年前にはすでに活字となって出版されています。

天皇と黄金ファンド / 古代から現代に続く日本國體の根本・落合莞爾

國體秘事の結論から言いますと、
敏達天皇の前皇后の息長広姫と後の皇后額田部皇女が同一人物であり
聖徳太子とは敏達天皇と息長広姫（額田部皇女）の間に生まれた皇子、
竹田皇子です。
竹田皇子こそが厩戸王（聖徳太子）であったのです。

ではなぜ、息長広姫が偽装崩御までして一人二役をこなしたのか？

それは蘇我馬子の姪となることで蘇我馬子を後援し加勢するためでした。
そして厩戸王は皇位に即かず摂政となることによって
裏で自由に動くことができ、國體側の活動に専念できたのです。

ちなみにウィキペディアでは
聖徳太子は「仏教を取り入れ神道とともに信仰し興隆につとめた」と、
書かれていますが、正確にはマニ教です。

マニ教が密教となり大乘仏教に潜入し、
それを聖徳太子は日本に取り入れたのです。

現在、奈良国立博物館の仏画は「マニ像」と判明しています。
飛鳥時代に渡来したのはマニ教（明教）だったのです。

ちなみに「密教」とは、宗教が違う宗教に潜入することであり、
なんやら変なカルトチックなお経を唱えるのが密教ではありません。
密教とは潜入宗教のことです。

イスラム教もマニ教が入った一神教です。
ムハンマドと聖徳太子は同じ時代に現れています。

中東をマニ教が入った一神教で（イスラム教）一本化させ
欧州のキリスト教と競わせ一神教の勢いを抑えながら
日本にマニ教を導入させ固めたのは
國體ワンワールドの政略です。
（このワンワールドはグローバリストという意味ではありません）

そして聖徳太子と言えば法隆寺の夢殿ですが
夢殿は八角形です。
八角形はマニ教です。

2024年度から発行予定の新紙幣の顔は
渋沢栄一ですが、裏は東京駅です。
東京駅も八角形ですね。

そしてもちろん高御座も八角形です。

つまり令和とは聖徳太子（マニ思想）の時代到来を望むということだと思えます。
そしてこのマニ思想はワンワールド思想であり
西洋ではフリーメイソン思想に繋がります。

電子書籍に書きましたが、
フリーメイソン＝悪＝世界を牛耳ってる
という方程式はすでに古いですし、正確ではありません。

また巷でよく言われるロスチャイルド家やロックフェラー財団ですが彼らがこの地球をいつ統一したのでしょうか？（そんな力ありません 笑）この新時代に、皆さんも一度先入観を抜いてみてください。よろしくお願いたします。



電子書籍のお知らせ



平成が終わる前に何とか出版することが出来ました。

そしてなんとアマゾンカスタマーからレビューもいただきました。

書籍の最後にサイトのURLを載せてますので
もしかしたらこちらのメルマガに
登録してくれたかもしれませんので
この場をお借りして感謝申し上げます。

[アマゾンの電子書籍URLはこちらから](#)

アマゾンカスタマーのJMocoさんという方の感想は
とても的をついており、次回の時に参考にしようと思います。
率直な意見、ありがとうございました。

実はこの方がマニ教を知っていたことにびっくりしましたが、
だったら一神教に対してもう少し
突っ込んで良かったのかな? と思いました。

すでに、次の構想を考えております。

今回はもう少し突っ込んで書いてみようと思います。

最後の方に9.11の反転で3.11の事も若干触れていますが
しかし、一神教への批判や福島第一原発事故とウラン濃縮事業など、
ハッキリ書いてしまうと若干心配だった気持ちもありましたので
今回の書籍では結論だけで止めました。

またアマゾンのレビュー以外にも、

「WTC のこと パリのこと 何も知りませんでした
フリーメーソンで解けば、ここまで解けるのですね」

「読みやすかったです」

などといった感想も個人的にいただきました。
ありがとうございます。

電子書籍を読んだけどよく意味が分からなかった方、
または、質問のあるかたは遠慮なくご連絡ください。
もっと突っ込んで説明いたします。
アマゾンカスタマーのJMocoさんの指摘するように
若干、説明不足の部分もあるからです。

今後も執筆活動するにあたって日々精進しますので、
これからもどうぞよろしく願いいたします。

これは2019年6月号ですが、
こんな感じで毎月一日にメルマガが配信されます。
興味のあるかたは是非新規登録をお願いいたします。

<https://seijimania.com/>

最後までお読み下さりありがとうございました。

メルマガ発行者: AI